※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」　（数研出版）						
副教材等	古典文法用言徹底ワーク　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・言語文化では、古典や、古典について書かれた文章を読むこと中心に、日本語に受け継がれてきたことばを学習します。
・単に出席や発言をするだけでは点数にはなりません。諦めずに課題に取り組む態度や、提出物の内容を評価します。ペアワークやグループワークでは積極的に他者の意見を聞き、自分の考えを高めましょう。
・古典は、文法など内容の積み重ねで学習していくことが多いので、復習をすることが大切です。

2　学習の到達目標

(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の世界を楽しむ ［教材］ 児のそら寝(宇治拾遺物語)	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代にも生きる教え ［教材］ ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	受け継がれる古文 ［教材］ 羅生門	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	受け継がれる古文 ［教材］ 探究の扉 今昔物語集	b[書]：近代小説とその典拠となった古典文学との相違点を探り、その相違が近代小説にどのような効果をもたらしているかを考えている。 c：粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。		レポート	レポート
	昔と変わらない人の心 ［教材］ 芥川(伊勢物語)	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	和歌が作り出す世界 ［教材］ 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書こうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 紹介文	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	詩歌を味わう ［教材］ 短歌	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている c:学習課題に沿って、粘り強く短歌の作成に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 創作短歌	ワークシート 振り返りシート
	「ことば」を吟味する ［教材］ 舟を編む	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	戦乱下の人間像 ［教材］ 木曽の最期（平家物語）	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:義仲と兼平の性格の違いについて粘り強く本文を分析しながら考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 訓読の決まり 格言	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	故事成語を学ぶ ［教材］ 助長 漁夫の利	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間